

<首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討>

東日本大震災以降、全国的にも、都域的にも様々な防災・減災の活動が取り組まれています。東災ボは、従前から防災・減災活動に取り組んできた団体として、それらの取り組みと連動して首都圏大災害に向けた取り組みを実施してきました。

■東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議での取り組み

2013年度に検討を重ねてきた「東京都災害ボランティアセンター構想」は、東京ボランティア・市民活動センターや東京都をはじめ、様々な団体で役割や活動について検討を重ね、今後5年間で実施すべきアクションプランの作成まで取り組むことができました。2014度は「東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議準備会」を経て、「東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議」が設置され(2014年7月)、アクションプランの推進と、検討会の中で整理された課題についてさらに検討する場を設けていきました。

<アクションプランにもとづく取り組み>

①被災者支援・ネットワーク調整事業、②災害VC設置・運営支援事業、③被災情報・支援情報の収集と発信事業、④人材育成事業と、アクションプラン通り4つのカテゴリで取り組みを進めてきました。全ての事業において、アクションプラン推進会議の幹事団体(それぞれのネットワーク参加団体含む)や全体会参加団体、または地域の市区町村社協や関係のあるNPO・NGO団体と協働で実施することで、アクションプランが見据える災害時の被災者支援につながる関係づくりを進めています。

◇アクションプランにもとづく主な取り組み

①被災者支援・ネットワーク調整事業

◆NPO・NGO担当ブロック制:都内3つの地区でNPO・NGOと社協ブロックが情報交換できる場を設けた。

<実施地区>: 城北ブロック(北区、台東区、荒川区、文京区)、城東ブロック(足立区、江戸川区、江東区、墨田区、葛飾区)、城西ブロック(中野区、杉並区、豊島区、練馬区、板橋区)

◆都の他部局との情報交換会の開催:2014年12月2日、2015年1月7日

◆講演会「NVOADの取り組みを学ぶ」の開催:2015年3月17日

②災害VC設置・運営支援事業

◆災害ボランティア支援チェックリスト・事例集の作成:事例集作成の検討委員会を実施しながら作成

◆メールマガジンの実施:区市町村VCやNPO・NGO、民間団体等の講座や訓練の取り組みを配信

③被災情報・支援情報の収集と発信事業

◆災害ボランティア広報担当育成プログラムの開発:プログラム検討委員会を実施しながら作成

◆災害VCにおける広報ガイドラインの作成と広報担当研修(モデル研修)の実施

④人材育成事業

◆講座や訓練と通したブロック内外の団体連携:講座を協働形式で実施

◆東京都災害VC訓練の実施:2014年8月30日東京都・杉並区合同総合防災訓練で実施

◆内閣府主催「首都直下地震時の災害ボランティア活動連携訓練」で共催実施(2014年12月11-12日)

<アクションプラン推進会議 全体会/幹事会の開催>

アクションプランを推進するにあたり、事業推進のための情報収集、事業の推進状況の共有等を図るため、アクションプランに賛同する団体/協力いただいている団体を対象とした全体会を、アクションプラン推進会議幹事団体を対象とした幹事会を開催しました。

- ◇全体会の開催: 第一回: 2014.07.25 推進会議の説明/アクションプランの進捗状況の説明
第二回: 2014.11.14 東京都災害VC訓練の報告/内閣府広域訓練について
第三回: 2015.02.03 内閣府広域訓練の振り返り/都災対部との情報共有について

- ◇幹事会の開催: 第一回: 2014.10.01 内閣府広域訓練について/アクションプラン進捗状況について
第二回: 2014.12.02 内閣府広域訓練について/都災対部との情報共有について
第三回: 2015.01.07 内閣府広域訓練概要報告/都災対部との情報共有について
第四回: 2015.03.12 2014年度活動報告について/2015年度活動計画について

- ◇東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議幹事団体(7団体)
国際協力NGOセンター(JANIC)/ジャパン・プラットフォーム(JPF)/東京災害ボランティアネットワーク/
東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会部会/東京都生活協同組合連合会/東京ボランテ
ア・市民活動センター(TVAC)＝事務局/日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会 (50音順)

- ◇東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議(全体会に参加実績のある団体: 12団体)
ADRA Japan/シャプラニール＝市民による海外協力の会/グッドネーバーズ・ジャパン/ケア・インターナ
ショナルジャパン/国際ボランティア学生協会(IVUSA)/災害復興まちづくり支援機構/シャンティ国際ボ
ランティア会(SVA)/JUON(樹恩)NETWORK/真如苑SeRV/東京YMCA/難民支援協会/NICE/
ピースボート災害ボランティアセンター (50音順)

東京災害ボランティアネットワーク事務局は、東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の幹事団体の一つとして、推進会議事務局を担う東京ボランティア・市民活動センターと共に、アクションプランの推進に積極的に関わり、特にアクションプランの人材育成分野において、訓練の実施や各団体との協働プログラム企画を担当しています。

東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議が内閣府と共催した「首都直下地震時の災害ボランティア活動 連携訓練」では、役員団体を中心とした東災ボ参加団体の方々にもご参加いただくことができました。

■全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会での取り組み

東日本大震災を受けて、今後の広域災害時を想定したボランティア・NPO/NGO等の調整機関を全国域で設立する準備が進んでいます。東災ボは都域のネットワークですが、全国域の取り組みと連動した防災・減災の取り組みを意識するため、準備会に参画し、各種取り組みを実施しました。

<全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会のあゆみ>

- 2013年05～06月 経済団体や内閣府を訪問し、経緯と趣旨を説明
2013年07月03日 第一回準備会を開催(以後、毎月開催)
2013年11月～ 国内災害関連団体(経団連、日本財団、全国社会福祉協議会、中央共同募金会、日本生活協同組合連合会、連合 等)を訪問し、経緯と趣旨を説明
2014年01月、5月 アメリカにおける災害対応調整機関視察
2014年05月27日 「広域災害に備えた官民連携を考える研究会(東京会場)」開催
テーマ: 米国NVOADに学ぶ 参加者: 58名
2014年06月18日 「広域災害に備えた官民連携を考える研究会(神戸会場)」開催

テーマ:米国の官民連携の仕組みについて 参加者:20名
2014年10月～2015年02月
「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する意見交換」(内閣府)
2015年03月15日 第三回国連防災世界会議パブリックフォーラム
テーマ:災害時における支援調整の仕組みを考える
～新たな官民連携・コーディネーション機能構築に向けて～
参加者:180名

<全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会参加団体>

国際協力NGOセンター(JANIC)/災害ボランティア活動支援プロジェクト(支援P)/震災がつなぐ全国ネットワーク/ジャパン・プラットフォーム(JPF)/全国社会福祉協議会/中央共同募金会/チーム中越/東京災害ボランティアネットワーク/日本NPOセンター/日本青年会議所/日本赤十字社/東日本大震災支援全国ネットワーク (11団体50音順)

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会は、毎月の定例会議の場を設け、設立に向けた調整状況の共有や、災害関連を含む各種全国ネットワークとの意見交換、災害が発生した際は支援情報の共有の場として機能しています。

■その他

2005年から設置されている内閣府の防災ボランティア活動検討会やその他の取り組みについても、東災ボとして積極的に関わっていきました。

<内閣府防災ボランティア活動検討会への参画>

2014年11月11日、2015年2月25日に開催された内閣府防災ボランティア活動検討会へ積極的な参画をしました。

◇平成26年度第一回防災ボランティア活動検討会(通算20回)

日時:2014年11月11日(火)

内容:<全体会>この間の被災地支援活動について(京都府福知山市/兵庫県丹波市/広島県広島市)
豪雨災害におけるボランティア活動の課題と今後の環境整備について

<分科会>地域における行政とボランティアとの、連携、体制づくりについて

◇平成26年度第二回防災ボランティア活動検討会(通算21回)

日時:2015年2月25日(土)

内容:「首都直下地震災害ボランティア連携訓練」について

「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する意見交換 提言(案)」について

<内閣府広域大規模訓練 企画ワーキンググループへの参画>

内閣府が進めている、大規模災害における民間支援の広域連携や団体間連携のために必要な環境整備のあり方を検討する企画 WG(ワーキンググループ)に参画しました。これまでの東災ボが実施してきた被災者支援活動の知見を報告するとともに、訓練そのものを企画・立案し、都内で実施しました。

◇首都直下地震時の災害ボランティア活動 連携訓練

日時:2014年12月11日～12日

場所:有明の丘基幹的広域防災拠点施設会議室

主催:内閣府(防災担当)

共催:東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議

内容:ワークショップ型訓練

参加:146名(プレイヤー都内参加者:51名、プレイヤー都外参加者:38名、見学参加:57名)

※訓練前に企画運営のためのワーキンググループ会議(8名)が内閣府に設置され3回の会義を経て実施されています。

第一回2014.09.26 第二回2014.10.23 第三回2014.11.14

＜第10回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練への参画＞

静岡県ボランティア協会が中心となり、県や県社会福祉協議会はもとより、県内市町の社会福祉協議会や災害ボランティア団体、また企業や労働団体等と連携して10年前から取り組んでいる訓練に、企画作成ワーキンググループの一員として参画しました。

名称:第10回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練

日時:2015年3月7日～8日

場所:静岡県静岡市

主催:静岡県労働者福祉基金協会/静岡県ボランティア協会

共催:静岡県/静岡県社会福祉協議会/静岡県内市町社会福祉協議会

協力:静岡県労働者福祉協議会/連合静岡

実施主体:静岡県ボランティア協会/東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会

内容:ワークショップ型訓練

参加:334名(静岡県内:113団体234名、静岡県外:64団体100名)

※訓練前に企画運営のためのワーキンググループ会議(静岡県内外で29名)が、実施主体となっている「東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」内に設置され、計5回の会義を経て実施されています

第一回2014.07.24 第二回2014.09.14 第三回2014.11.04

第四回2014.12.17 第五回2015.02.13

東日本大震災を経て、災害ボランティア(防災ボランティア)の動きは大きな変化を迎えています。内閣府や内閣府防災ボランティア活動検討会でも、南海トラフ大地震や首都直下地震など広域災害を見据え、災害ボランティアの広域連携が大きなテーマとして認識されています。東災ボも積極的に意見交換させてもらいながら具体的な取り組みつながらるよう環境作りを進めていきました。

<地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み>

例年と同様に、地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組みとして、講師派遣やプログラム提供を実施してきました。2014年度は、前述の東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議(準備会)の人材育成と連動した形で、複数の団体の取り組みを協働で実施できるように工夫をしました。また、例年実施している「1.17イベント」に、阪神・淡路大震災20年シンポジウムを併せて開催しました。

■講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業等

<講師派遣・プログラム派遣等>

2014.06.13	COOP災害Vネットワーク スキルアップ講座(～6/14)
2014.06.21	沼津市社会福祉協議会 災害V講座
2014.07.12	コープみらい 災害V講座
2014.07.19	杉並区社会福祉協議会 災害V講座
2014.09.01	千葉県「高校生等防災教育基礎講座」
2014.09.04	御殿場市社会福祉協議会 地域防災講座
2014.09.27	阿佐ヶ谷まちづくり協議会 地域防災訓練
2014.10.03	中央ろうきん友の会総会 基調報告
2014.10.04	品川区立大崎中学校PTA 防災講座
2014.10.11	西東京社会福祉協議会 災害V講座
2014.10.14	千葉県「高校生等防災教育基礎講座」
2014.10.27	板橋総合VC 高校生への災害ボランティア講座
2014.11.16	阿佐ヶ谷まちづくり協議会 防災講座
2014.12.02	東京海洋大学 ゲストスピーカー
2015.01.27	減災と男女共同参画研修推進センター 公開研究会
2015.02.07	TVAC ボランティアフォーラム
2015.02.14	荒川区社会福祉協議会 防災勉強会
2015.02.21	東都生協 防災講座
2015.02.26	千代田区社会福祉協議会 ちよだMN勉強会
2015.03.10	千代田区社会福祉協議会 千代田区総合防災訓練
2015.03.15	防災とボランティアのつどい
2015.03.16	国連世界防災会議パブリックフォーラム 「災害に強い社会づくり～男女共同参画の視点を根付かせる～」

<委員派遣等>

東日本大震災支援全国ネットワーク	代表世話人	山崎
東京都共同募金会配分委員会	委員派遣	上原
東京都生活協同組合連合会	理事派遣	上原
内閣府・東京都「首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議」	委員派遣	福田
内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」	委員派遣	福田
内閣府「広域大規模訓練 企画ワーキンググループ」	委員派遣	福田
静岡県ボランティア協会「第10回回上訓練」ワーキンググループ	委員派遣	福田
東京ボランティア・市民活動センター運営委員会	委員派遣	福田
地域生活研究所	理事派遣	福田

<委託事業等>

地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

◇東京都生協連「COOP災害ボランティア養成研修(5回)」

2014.09.27 第一回 開講式／記念講演

2014.10.04 第二回 普通救命講習

2014.11.01 第三回 杉並区社協との地域連携プログラム(防災のまちあるき)

2014.11.15 第四回 災害シミュレーションプログラム

2014.12.06 第五回 炊き出し体験／修了式

上記の取り組み以外にも、各団体・地域が取り組む防災講座・研修にあたり、プログラムの提案・研修内容へのアドバイスなどを実施しています。特に東京ボランティア・市民活動センターの各種講座にはプログラム提供等を実施させていただき、アクションプラン推進会議はもとより都内市区VCの講座・研修で役立てていただいています。

■1.17イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。2014年度は、阪神・淡路大震災から20年を迎えた2015年1月17日の開催となり、これまでの灯りのつどいイベントと同時開催で、阪神・淡路大震災20年シンポジウム「首都東京の災害に備える～阪神・淡路大震災、東日本大震災の次の災害に向けて～」を実施しました。

<いま、わたしたちに、できること。2015 KOBE MEMORIAL 1.17灯りのつどい>

日 時:2015年1月17日(土) 16時00分～18時00分

場 所:東京国際フォーラム地上広場

内 容:灯りのつどい/展示/防災クイズ/煙体験ハウス/炊き出し/スクリーン映像

参加者:764名(シンポジウム参加者:113名含む)

主 催:東京災害ボランティアネットワーク

共 催:(株)東京国際フォーラム/東京ボランティア・市民活動センター

<阪神・淡路大震災20年シンポジウム

「首都東京の災害に備える～阪神・淡路大震災、東日本大震災の次の災害に向けて～」>

日 時:2015年1月17日(土) シンポジウム 15:00～17:00

場 所:東京国際フォーラムhall D1

内 容:報告:ネットワーク組織による被災者支援の現状と課題

パネルディスカッション:首都直下地震に向けた各団体における人材育成、プログラムについて

参加者:113名

主 催:東京災害ボランティアネットワーク

共 催:(株)東京国際フォーラム/東京ボランティア・市民活動センター

2014年度の1.17イベントはシンポジウムを同時開催したこともあり、灯りのつどいを東災ボ事務局が、シンポジウムを東災ボ副代表のSVAが担当し、TVAC、東京YMCA、東京都生協連、連合東京、SeRV等による実行事務局を設置し、事前準備から当日運営までを担いました。

＜被災者支援活動(交流活動)の取り組み＞

東日本大震災被災者支援活動については、2013年度と同様に、2011～2013年まで東災ボが現地に事務局を置いて支援してきた宮城県南三陸町・登米市の仮設住宅、および地域の方々との交流活動や、都内に避難してきている広域避難者支援活動を二つの軸として取り組みを実施してきました。また、2013年10月に発災した伊豆大島との復興支援活動(交流活動)や、2005年から10年間続けている三宅島との交流活動に取り組みました。

■東日本大震災被災者支援活動

2013年度と同様に、これまでの支援活動で縁を持ち続けている仮設住宅やその周辺の方々との交流活動を継続していきました。また、2015年3月に開催された「南三陸ボランティア感謝のつどい」に参加しました。

＜被災地での訪問交流活動＞

2011年3月から2年間にわたり継続した東日本大震災被災者支援活動でできた縁を大切にしながら、仮設住宅でのイベントや登米市にある横山不動尊を中心とした地域のイベントを通じて訪問交流活動を実施しました。

◇横山不動尊春大祭への協力

日時:2014年4月25日(金)～28日(月)
内容:春大祭での湯茶の接待

◇横山不動尊厄流しそうめんへの協力

日時:2014年8月1日(金)～4日(月)
内容:厄流しそうめんでのかき氷の提供

◇横山幼稚園跡地仮設住宅秋祭り&

横山不動尊秋の太鼓祭りへの協力
日時:2014年9月13日(金)～15日(月)
内容:参加者へのかき氷・お茶接待

◇南三陸ボランティア感謝のつどいへの参加

日時:2015年3月15日(日)
主催:南三陸町 南三陸町社会福祉協議会
参加者:約1000名

※これらのプログラムについては、参加費をいただきながら実施させていただきました。

※上記以外にも、仮設住宅での食事会やミニイベント、登米市や南三陸町での取り組みに事務局が参加・協力させていただいております。

＜仮設住宅自治会への助成協力＞

中央ろうきん友の会による仮設住宅自治会への助成(寄付)活動に協力し、これまで東京災害ボランティアネットワークが関わりを持ってきた下記の6つの仮設住宅自治会を紹介させていただき、2014年4月23-24日に現地での贈呈式を開催しました。

登米市南方第一仮設住宅自治会

登米市若者総合体育館仮設住宅自治会

登米市横山第一第二仮設住宅自治会

登米市南方第二仮設住宅自治会

登米市横山幼稚園跡地仮設住宅自治会

南三陸町戸倉中学校仮設住宅自治会

＜東日本大震災支援全国ネットワークへの参画＞

東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話人団体の一つとして、JCNの取り組みに参画、および参加・協力しました。特に広域避難者支援活動においては、都内での取り組みに対し、広域避難者支援連絡会in東京として積極的に参画すると同時に、都内で実施された「Walk with 東北」プロジェクトや風化防止イベント(「東北これから会議」等)に参加・協力しました。

- ◇世話人団体定例会 :2ヶ月に一度開催
- ◇広域避難者支援活動 :避難者支援の総合窓口・コーディネート/避難者支援の場づくり 等
- ◇Walk with 東北 :東北応援ビレッジ(2014年5月開催)
東北これから会議(2015年3月開催)

2014年度は、2013年度と同様に被災地「支援」活動というよりも、被災地との交流活動を実施してきました。現地事務局の常駐から2年が経ち、被災地にも被災者にもさまざまな変化が訪れていますが、「赤帽」との交流に対しては、数多くの被災者の方々が期待をしています。

■広域避難者支援活動(広域避難者支援連絡会in東京での取り組み)

広域避難者の課題は、東日本大震災から4年を経過した今、非常に個別化(家庭事情等)し見えにくく、深刻化(健康面への影響等)しボランティアでは支援しにくくなってきています。また、2015年4月には来年度以降の公的支援の縮小が発表され、支援活動はますます厳しくなっていくことが予想されます。さらに、被災元の市町(県)が違うことから、避難当事者を取り巻く支援環境や、今後を考えた上での帰還・移住の考え方等も違い、避難当事者が歩みを共にすることも難しい状況が続いています。そんな中、東京災害ボランティアネットワークは、「広域避難者支援連絡会in東京」の一員として、広域避難によってつながりが切れてしまった当事者の方々のつながりを再構築すると同時に、支援団体の方々と新たなつながりを構築できる場づくりを中心とした支援活動を実施してきました。

<定例会議の開催>

連絡会参加団体や関係団体が情報交換する場として、また連絡会企画の検討をする場として、2014年度は2014年4月から2015年3月まで、毎月の定例会議を開催しました。

- 第01回定例会 2014.04.10 2013年度事業・決算報告、2014年度事業計画について 等
- 第02回定例会 2014.05.08 第5回MTGin東京について/設立総会について 等
- 第03回定例会 2014.06.12 設立総会を兼ねて実施(※)
- 第04回定例会 2014.07.03 第5回MTGin東京振り返り/バスハイク実行委員会について 等
- 第05回定例会 2014.08.07 2014秋バスハイク進捗状況について/第6回MTGin東京について 等
- 第06回定例会 2014.09.11 2014秋バスハイク進捗状況について/第6回MTGin東京について 等
- 第07回定例会 2014.10.09 第6回MTGin東京報告/2014秋バスハイク進捗状況について 等
- 第08回定例会 2014.11.13 2014秋バスハイク報告/第7回MTGin東京について 等
- 第09回定例会 2014.12.18 お正月準備の会について/第7回MTGin東京について 等
- 第10回定例会 2015.01.08 お正月準備の会報告/第7回第8回MTGin東京について 等
- 第11回定例会 2015.02.12 第7回MTGin東京報告/第8回MTGin東京について/次年度について 等
- 第12回定例会 2015.03.12 第8回MTGin東京報告/次年度について 等

(※)広域避難者支援連絡会は、2013年1月の準備会を経て、2013年4月に発足していますが、組織的な体制を持たずに活動してきましたが、2014年6月に組織体制を確立しました。

<広域避難者支援ミーティングin東京の開催>

広域避難者支援活動を実施している団体や避難当事者団体の交流・連携を促すための情報交換の場、様々な支援手法・アイデアを共有し支援の充実を図る場として、広域避難者支援ミーティングin東京(MTGin東京(※))を開催しました。

- ◇第5回MTGin 東京 日時:2014年6月19日(木) 場所:日本財団ビル会議室
内容:福島県・東京都の支援事業/よりそいホットラインの取り組み/関東圏の取り組み等
参加:99団体135名
※第5回MTGin東京は、JCNと共催で「MTGin関東」として実施しています
- ◇第6回MTGin東京 日時:2014年9月24日(水) 場所:東京都生協連会館会議室
内容:連絡会の取り組み報告/被災県、被災市町の復興支援員について 等
参加:当事者団体12団体、オブザーバーを含め計65名
※第6回MTGin東京は、当事者団体を中心としたクローズド会議として実施
- ◇第7回MTGin東京 日時:2015年1月20日(火) 場所:全水道会館会議室
内容:連絡会の取り組み報告/被災県と東京都の住宅支援について 等
参加:当事者団体10団体、オブザーバーを含め計39名
※第7回MTGin東京は、当事者団体を中心としたクローズド会議として実施
- ◇第8回MTGin東京 日時:2015年2月24日(火) 場所:飯田橋セントラルプラザ会議室
内容:都内支援団体の取り組み共有/他地域(埼玉・愛知・岡山)の取り組み共有
参加:当事者団体8団体含め、計74名

(※)第1回MTGin東京は2013年3月に、第2～4回のMTGin東京は2013年度に開催しています。

<当事者団体との協働事業の実施>

避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している都内にある12の当事者団体と協働して具体的な交流プログラムを実施しました。なお、これらの事業は、当事者団体と連絡会で実行委員会を設置し、連絡会が実行委員会事務局を担いました。

◇2014バスハイク秋の大交流会

日時:2014年11月8日(土)～9日(日) 一泊二日
場所:一宮シーサイドオーツカ(千葉県一宮町)、ザ・フィッシュ(千葉県富津市) 等
内容:都内の当事者団体同士の交流
参加:77名(当事者団体を通じての参加者募集で公募はなし)

◇お正月準備の会

日時:2014年12月27日(土) 10時30分～14時00分
場所:いたばし総合ボランティアセンター
内容:お餅つき/浪江焼きそばの提供/お楽しみ抽選会 等
参加:150名(当事者団体を通じての参加者募集で公募はなし)

※これら当事者団体との協働事業を実施するにあたり、当事者団体と支援団体で実行委員会を設置し、計7回の実行委員会(および下見会)が開催されています。

第一回2014.06.24 第二回2014.07.15 第三回2014.07.30 第四回2014.08.25
第五回2014.10.26 第六回2014.11.04 第七回2014.12.09 (下見会2014.10.01)

<情報収集と発信>

メールマガジンの配信(配信者:86名 配信回数:30回)やホームページでの情報発信を実施しました。
※広域避難者支援連絡会in東京ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>

<その他>

他に、勉強会(電話相談における傾向と事例を学ぶ:2015年2月12日)の開催、全国や他県の支援団体

とのネットワーク強化(広域避難者支援ミーティング全国版への参加等)を図りました。

※広域避難者支援連絡会in東京(11団体)

(構成団体)荒川区社会福祉協議会/いたばし総合ボランティアセンター/公益財団法人さわやか福祉財団/災害復興まちづくり支援機構/震災がつなぐ全国ネットワーク/全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)/中央労働金庫/東京災害ボランティアネットワーク/東京都生活協同組合連合会/東京ボランティア・市民活動センター/東京労働者福祉協議会 (50音順)
なお、2015年度から「震災がつなぐ全国ネットワーク」が退会し、「連合東京」が入会しています。

広域避難者支援活動は、三宅島噴火災害時の全島避難支援活動の経験をいかし、当事者団体との連携を深めながら実施してきました。東日本大震災から4年が経過していますが、当事者の方々と協働で活動することを心がけています。

■伊豆大島復興支援活動(大島復興交流プログラムの実施)

伊豆大島支援活動は、東京都災害ボランティアセンターの一員として東災ボも活動を実施してきました。2014年3月からは、「大島復興支援東京ボランティアセンター」の構成団体として、大島社会福祉協議会をはじめとする島民の方々や関係団体と共に復興交流プログラムを実施しました。

<大島復興交流プログラム>

日時:2014年10月31日(金)~11月2日(日) 二泊三日(船中泊一泊含む)

場所:伊豆大島(福祉祭り会場、および被災地域等)

内容:初 日:福祉祭り(大島社協主催)のお手伝い/島民との交流

二日目:町役場職員から復興に向けた町役場の取り組み説明/被災地域の散策(島民による語り部)等

参加:島外参加者32名(関係団体を通じての募集で公募はなし)

主催:大島復興支援東京ボランティアセンター

(構成団体)大島社会福祉協議会、国際協力NGOセンター(JANIC)、静岡県ボランティア協会、ジャパン・プラットフォーム、シャンティ国際ボランティア会(SVA)、東京ボランティア・市民活動センター、東京YMCA、日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会、東京災害ボランティアネットワーク

<大島復興支援東京ボランティアセンター定例会(構成団体打ち合わせ会議)>

大島復興支援東京ボランティアセンターでは、定例の会義を計8回開催し、構成団体間の情報交換や前述の大島復興交流プログラムの企画運営を実施しました。

第1回2014.04.15 第2回2014.05.23 第3回2014.06.20 第4回2014.07.23
第5回2014.08.29 第6回2014.10.01 第7回2014.10.21 第8回2014.12.03

2014年10月に土砂災害から1年を迎えた伊豆大島との交流プログラムを実施しました。土砂災害直後に予定されていた「大島福祉祭り(大島社協主催)」が2013年は中止となり、2年ぶりに開催されたこのお祭りで島民の方々ととの交流を深めました。三宅島や東日本大震災の被災地と同様に、支援活動から交流活動にシフトしています。

■みやげじま<風の家>を通じた三宅島交流活動

2005年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も2014年で10回目となりました。2005年2月から8月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。2005年10月からは、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営する「みやげじま<風の家>」を通じて様々な活動を展開しています。

<三宅島年末お掃除ボランティア>

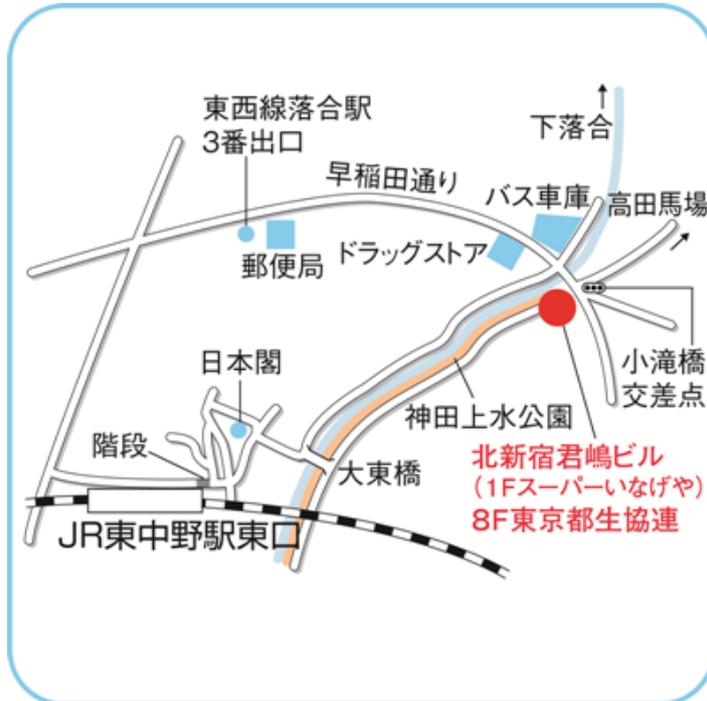
日 時： 2014年11月28日(金)～11月30日(日):13名
2014年12月12日(金)～12月14日(日):14名
場 所： 三宅島
内 容： お掃除ボランティア/島民ボランティアによる島内一周視察
参 加： 27名(東京からのボランティア参加者のみ)
主 催： みやげじま<風の家>/東京災害ボランティアネットワーク

<三宅島年末もちつき会>

日 時： 2014年12月08日(土)
場 所： 三宅島 (みやげじま<風の家>内)
内 容： 餅つき会 等
参 加： 5名(東京からの参加者のみ)
主 催： みやげじま<風の家>

三宅島での交流活動は、市民が参加できる復興支援プログラムとしても注目できるプログラムとなっています。前述の伊豆大島での復興支援プログラムも、三宅島での経験を生かした活動となっており、今後の、被災地への復興支援プログラムの一つの

＜事務局の移転＞



現在、東災ボ事務局を設置させていただいている東京都生協連会館の改築に伴い、東災ボ事務局も2014年12月より一時移転させていただくこととなりました。

改築中、改築後も、東京都生協連ご厚意により、事務局スペースを東京都生協連会館内に確保いただけることとなっております。

住所：〒169-0074
新宿区北新宿4-8-16
北新宿君嶋ビル8階

Mail : info@tosaibo.net
FAX: 03-6844-6845

＜情報発信＞

これまで滞っていた東災ボTIMESの定期発行を目指していましたが、常駐の事務局員が1人となり、2014年度は発行することができませんでした。